

令和 5 年和泉市教育委員会第 2 回臨時会

日 時：令和 5 年 7 月 27 日(木) 午後 1 時 30 分から
場 所：和泉市役所別館 3 階 3-1・3-2 会議室

出席者

教育委員会

教育長	小川 秀幸
教育長職務代理人	深堀 知子
委員	酉家 章弘
委員	久米 ひろみ
委員	中西 正人
委員	小谷 美樹

事 務 局

教育次長兼教育・こども部長 (教育・こども部)	土本 修一
教育指導監	上田 茂幸
教育・こども部次長兼教育総務課長	鍛冶 公哉
学校教育室長	阪下 誠
学校教育室教育センター所長	隅埜 哲弥
学校教育室教育指導担当参事	岩井 靖久
教育総務課長補佐	大西 薫
学校教育室主幹	五島 剛志
教育総務課企画係長	小路 佑樹
教育総務課総務係	西川 世理奈

和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会委員

和泉市立小学校校長会会長	大槻 亮志
和泉市立小学校教育研究会会長	栗山 正人
和泉市立中学校教育研究会会長	大野 浩昭
和泉市立小学校在籍児童保護者代表	木岡 敏治
教育委員会事務局 教育指導監	上田 茂幸
教育委員会事務局 学校教育室長	阪下 誠
教育委員会事務局 教育センター所長	隅埜 哲弥

1. 開 会

2. 会議録署名委員の指名について

3. 審議事項

議案第 28 号 令和 6 年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程
教科用図書採択について

4. 閉会

小川教育長	ただ今より、令和 5 年和泉市教育委員会第 2 回臨時会を開会します。 今回の会議録署名委員は、深堀職務代理者と久米教育委員を指名しますので、お願いします。 本日の審議事項は、1 件です。 議案の関係上、和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員の皆さまにも出席いただいています。 議案第 28 号、「令和 6 年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の採択について」を事務局（学校教育室）から説明願います。
上田教育指導監	教育・こども部教育指導監の上田です。 本議案は、令和 6 年度に本市における小学校及び義務教育学校前期課程の児童が使用する教科用図書について採択をいただきたく、委員会の議決を求めるものです。 提案の理由は、教科用図書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令」により、通常 4 年間、種目ごとに同一の教科書を採択することになっており、今回、全ての種目において小学校用教科用図書の採択を行うものです。 以上です。
小川教育長	早速審議に入りたいと思いますが、その前に、本日に至るまでの流れについて、和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会の大槻選定委員長から簡単に報告をお願いします。
大槻選定委員長	教育委員会からの任命・委嘱を受け、令和 5 年 5 月 26 日に第 1 回選定委員会を開催し、「調査員会」を設置しました。調査員会においては、5 月 30 日から綿密に教科用図書見本本の調査研究を実施しました。6 月 23 日、29 日、7 月 6 日、10 日には、調査研究委員から選定委員会に対する調査研究報告をもとに、検討・協議を重ね 7 月 18 日の選定委員会では、選定資料として意見をとりまとめ、7 月 20 日に答申した次第です。 各社とも、それぞれの特徴がある中で選択していただくのは非常に難しいとは存じますが、予測困難な時代を見据え、個別最適な学びと協働的な学びにより和泉のすべての子どもの可能性を引き出すため、また和泉の子どもたちにとって、学校で学んだことが「生きる力」となって、将来の豊かな人生を創造することにつながるためにも、最善の教科書を採択いただきますようお願い申し上げます。 以上です。
小川教育長	大槻委員長、ありがとうございました。 今回の教科用図書の選定に関して、選定委員会及び調査員会の皆様には、それぞれ公正で綿密な調査をしていただいたと思っています。

小川教育長	また、並行して私と教育委員 5 名も、5 月中旬から、事務局から配本された対象となる全ての教科用図書を確認しています。 併せて、大阪府教育委員会から送付された「教科用図書選定資料」を活用し、文部科学省のホームページに掲載された「教科書 編集趣意書」についても参考資料として活用してきたところです。また、広く市民等から事務局に寄せられました意見等についても報告を受けています。 本日は、答申の資料から、各社における特徴的なところなどについて共有し、各教育委員がお気づきになられたことを、自由に発言していただく形で審議を行い、一定、議論が熟した時点でまとめていきたいと考えています。 ご異議ございませんか。 【異議なし】 国 語 それでは早速、種目国語について審議をお願いします。国語は「東京書籍」「教育出版」「光村図書」の 3 社です。選定委員会からは、 東京書籍は、 ・発達段階への考慮において、低学年の教材では必ず文節で改行されている点、デジタル資料の活用の仕方など、情報に関する単元が多く取り扱われており、またプレゼンテーションの仕方など、今後必要とされる教材を取り上げている ・独自項目として、古来から伝わる教材が多く登場すること、SDGs を意識していること、単元で重点が置かれる学習活動には「ことは」というキャラクターを使い、つまずきの具体例の箇所には「はてな」というキャラクターを使って示している 教育出版は、 ・目標・内容の取り扱いについて、読む・話す・聞く・書くがバランスよく配列されていて、特に読み物教材では長く読み継がれている児童文学作品が多く含まれている ・組織配列では、説明文で学習した後に、それをもとに書く単元が設定されており、次に書く意欲につながる 光村図書は、 ・巻頭に国語の一年間の学びが領域別に示されていること、また当該学年の前学年で学んだことが記載されている ・学びの工夫として、「問いをつくろう」という箇所を設け、単元のはじめに問いをもって学び始められるように配列されている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
久米委員	種目書写にも関連するかもしれませんが、入学時点の識字レベルは子ども一

	人ひとりで違うと思いますが、「指導のしやすさ」という観点で３社の教科書を比較するとどう感じるのかなど、選定委員会で意見は交わされていますか。
栗山選定副委員長	「指導のしやすさ」という点では、特に教科書会社によつての差異はありませんでしたが、関連した意見として、東京書籍は入門期の子どもたちが読み書きでつまづかないように、多層指導モデルMIMを活用しています。ただし、そのMIMという指導方法は、その教科書でなければ活用できないわけではないという意見がありました。
久米委員	分かりました。いずれの教科書でも指導のしやすさという点では問題がないということですね。
栗山選定副委員長	はい。
小川教育長	他にございませんか。
小谷委員	光村図書は、「問いをもとう」という点がとても良いと思いました。５年生の教科書の８ページにきちんと問いをもとう、そして、目標を振り返ろうという手順を書いていますし、具体的には、同じ５年生の６４ページで敬語を学ぶ場合に、きちんと問いをもとうというところが入っていて、自分がここで何を学ばいいのかが分かりやすく、見通しをもって理解する工夫がよくできていると思いました。
小川教育長	他にございませんか。
西家委員	私はレイアウトに注目して見ていたのですが、どの教科書も上段下段に分けて記載されており、下段に説明や補足等があると思うのですが、上→下→上→下と読まないといけないところが、目線の移動という意味で子どもたちには、少ししんどいのではないかなと思います。どうしても上段、下段というレイアウトは必要だと思いますが、教育出版は、レイアウトが少し分かりにくい、統一感がないように感じました。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	私からは２点ありまして、１つは令和２年から本市の小学校の教科書が光村図書から東京書籍に変わったわけですが、実際に使ってどうだったかという現場の声を聞きたいです。それと、令和４年度の全国学力・学習状況調査の結果で、本市の場合、読む力は全国の水準に達しているが、文章での表現に課題が残るという分析をしていると思います。そうすると、教科書を選ぶにあたり、書く力を育てる観点が非常に重要になってくるとは思います。この点について

	他の委員の意見を聞きたいと思っています。
小川教育長	他にございませんか。
中西委員	深堀職務代理者の発言に同感なのですが、この３社の教科書を拝見して、それぞれ非常によく出来ており、特に光村図書と東京書籍については、甲乙つけがたいというのが率直な感想です。選定委員会での、調査委員の「本市の子ども課題である、語彙力をつける点において光村図書が優れている」という発言が非常に印象に残っているのですが、この点は非常に重要なポイントとされていて、選定委員会での議論をもう少し具体的に説明をいただきたい。特に、東京書籍と光村図書のそれぞれの特徴と、光村図書の教科書において、具体的にどういった点が語彙力をつけるにおいて優れているのかについて、もう少し説明をお願いしたいと思います。
小川教育長	それでは、２人の委員からありましたように、東京書籍と光村図書の違いについて、選定委員会で議論された点をお願いします。
上田選定委員	学習指導要領では、国語科での学びを通して子どもたちの論理的に思考する力や豊かに想像する力を養うことが重要視されており、この目標に照らし合わせますと、東京書籍と光村図書はそれぞれ異なる優れた点があるという意見がありました。論理的な思考力を養うための「読むこと」については、東京書籍が教材の扱いや言語活動の設定という点で優れている。一方、豊かな想像力を養うための「読むこと」については、光村図書が魅力的な文学作品を掲載しており、子どもたちが情景や心情を豊かに想像しながら学びを深めることができる点で優れているという意見でした。 中西委員からありましたように、語彙力の弱さが本市の学校の課題です。その力をつけるためには、読み込み、言葉の意味や、その言葉が何を表しているのかを理解することが大切である。そうした観点で期待できるのが光村図書の教材だという意見がありました。また「言葉の宝箱」というページで言語をたくさん掲載している点においても光村図書が優れているという意見も出ていました。
小川教育長	それでは、深堀職務代理者の質問で、書く力を育むという点でどう感じられたかについてはよろしいですか。
深堀職務代理者	今、語彙力を付けることが重要だというお話をいただいたのですが、語彙力を付けることは、言葉の意味が分かることにとどまらず、それを使いこなす力が必要だと思いますし、そういうものが付いてくると書く力に繋がっていくと考えています。小学生という発達段階を考えると、物語や文学作品を深く読み込むプロセスの中で言葉が身についていく面が大きいのではないかと思います。

	すので、数多くの良質な文学作品を取り扱っている光村図書に魅力があると考えます。先ほど、小谷委員からもご指摘があったのですが、光村図書に「問いをもとう」という箇所があり、これは、「問題発見・解決能力」を育てる目的があるようですが、そのアプローチは、国語の力に止まらず、子どもたちが生きていくうえで、自分で問題を見つけて解決していく力を付けるのに重要だと考えています。「問いをもとう」というのは、具体的には、「大造じいさんとガン」という単元がどの教科書でも5年生で同じように取り扱われているのですが、光村図書の場合は、「この物語を読んで大造じいさんや残雪について、あなたの印象に最も強く残ったのはどのようなことですか」という問いかけがされています。このような問いを通じて、子どもたちが自ら問いを見つけて解決する力が付くのではないかと考えます。
小川教育長	光村図書が優れているというご意見ですが、他にご意見ございませんか。
久米委員	私は、仕事柄、外国籍の子どもに日本語を教えることがあるのですが、その際に物語文というのを重視しています。物語の中で分かりやすい表現は、外国籍の子どもだけでなく、日本人の母語を養う点でも有効であると感じます。例えば、三年とうげという母語の抑揚や音感は物語文でないと感じられないということです。語彙の持つリズム感や日本語がどういうものか、外国籍の子どもでも物語を通して理解していけるところがあり、光村図書がどの学年でも物語文を扱っているという点において優れていると感じました。
小川教育長	他にございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、本市の子どもにとっての課題である書く力をつけるために欠かせない語彙力育成の視点、学習の基盤となる資質・能力の一つである問題発見・解決の視点を取り入れているという点から、光村図書が最も適しているということになりますが、よろしいでしょうか。 【異議なし】 それでは、種目国語は、光村図書の「国語」を採択することに決定します。 書 写 次に、種目書写について審議をお願いします。書写は「東京書籍」「教育出版」「光村図書」の3社です。選定委員会からは、 東京書籍は、 ・毛筆指導が始まる3年生で、より多くのQRコードが取り入れられており、授業や家庭学習においても補助的な役割を果たすことができるようになっている ・「書写の学び方」「生活に広げよう」のページ等で個別最適な学びと協働的な

	学びが一体的に充実するよう「学び方」が示されている 教育出版は、 ・リンゴのマークなどを使って、「めあて」「ふりかえり」が、明確に記載されており、取組みをスムーズに進めていくための工夫がある ・「学習の進め方」「書いて伝えあおう」のページ等で、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう「学び方」が示されている 光村図書は、 ・学年ごとに国語や他教科、日常生活に活かせるようになっており、特に 6 年生では書写の要素をまとめた書写ブックとしてまとめられている。4 年生では SDG s の達成に向けた活動を紹介した SDG s ブックがある ・「学習の進め方」「書写広げたい」のページ等で、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう「学び方」が示されている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
小谷委員	1 年生時の文字との出会いが重要と思います。3 社の教科書において、いずれも身の周りにどんな文字があるかが取り上げられているのは素晴らしいと思いました。その中でも教育出版と光村図書では、教室の写真や学校内のいろいろなシーンの写真を取り上げて、子どもたちが書を身近に感じるよう配慮されている点が評価できると思いました。
小川教育長	他にございませんか。
西家委員	私も、1 年生の書写は大事だと感じており、1 年生の教科書に注目しました。最近、右利き左利きの取扱いが問題となっておりますが、光村図書は鉛筆の持ち方や左利きについて大きく触れていませんが、教育出版は左利きの鉛筆の持ち方にきちんと触れていますし、東京書籍は右利きと左利き同様に鉛筆の持ち方を取り扱っています。今、左利きを矯正することが課題になっていきますので、左利きの書き方に配慮している東京書籍、教育出版は良く出来ているという印象です。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	小学校では、授業でめあてやねらいを示したり、ふりかえりが行われています。各社どの教科書でも、めあて・ねらいが單元ごとに示されていますが、中でもはっきり分かりやすく示されていると感じたのは教育出版で、特に 1 年生、2 年生はリンゴのマークで、めあてとふりかえりが明確に示されていたので、子どもたちも認識しやすいのではないかと感じました。
小川教育長	他にございませんか。

西家委員	教育出版のお手本は右側のページにあり、他の２つの出版社は左側のページにあったのですが、どちらの方がいいのか、現場ではどのように捉えられているのかについてはいかがでしょうか。
小川教育長	お手本の違いについてということですが、選定委員会でどなたか説明をお願いします。
大槻選定委員長	半分に折って使うので、あまり差はないと思われます。
小川教育長	他にございませんか。
中西委員	書写の教科書を初めて拝見しましたが、３社とも非常に良くできており、１年生から QR コードが活用されている。実際見ると、左に跳ねるときの力の抜き方や、右に跳ねるときは逆に力を入れるなど、分かりやすかったです。この QR コードを有効に活用すれば、非常に役に立つのではないかと感じました。３社の比較では、久米委員と同じ意見ですが、めあて・ねらいについて、教育出版が非常に分かりやすい。どういうことに注意をしなければならないかが、非常に簡潔にまとめられていると感じました。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	国語との関連になるのですが、令和４年度の全国学力・学習状況調査の問題で、行の中心から文字をずらしたものと、行の中心に文字の中心をそろえたものを比べて、書き直したことを指摘させるという問題に対して、本市が全国に比べ正答率が低く、無解答率が高いという結果になっていたと思います。この結果を踏まえて、書写で学習したことを日常生活に活かすことを意識できるようにすることも重要であるという指導改善のポイントがありました。書写の時間に文字の大きさやバランスを身につけることはもちろんですが、普段から漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことや、相手にとって読みやすいかを意識して書くことを指導することが大事ではないかと思っています。どの教科書も文字の大きさ、バランス、配置、行の中心など取り扱ってはいますが、その中でも、教育出版は３年生で言いますと 32 ページから 33 ページ、39 ページ、45 ページなどで、行の中心などの視点を意識して書きましょうという話が度々取り扱われていたので、その点で優れていると思いました。
小川教育長	他にございませんか。 それぞれ甲乙つけがたいというご意見を、特に小谷委員、西家委員から複数上げていただいているのですが、全員に共通して言いますと教育出版が多いかと思いますが、よろしいでしょうか。 審議をまとめますと、めあてをはっきり示し、ふりかえることを意識できる

	ようにしている点、文字の大きさやバランス、配置、行の中心などの視点について多くの機会を意識をさせている点、左利きの鉛筆の持ち方にもふれ、配慮している点などから、本市の子どもたちにとっては教育出版が適切であるということになります。ご異議ございませんか。 【異議なし】 それでは、種目書写は、教育出版の「小学 書写」を採択することに決定します。 社 会 次に、種目社会について審議をお願いします。社会は「東京書籍」「教育出版」「日本文教出版」の3社です。 東京書籍は、 ・つかむ→調べる→まとめる→いかすと学習段階をたどりながら、社会科の問題解決的な学習を進めていくことができるようになっている ・QR コンテンツを多数収載し、学習をさらに深めることができるようになっている 教育出版は、 ・毎時間2ページに「この時間の問い」と「次につなげよう」が記載されており、学習の流れがわかりやすい ・児童一人ひとりが、自分で資料を選んで、自分の力で追及していく「自分で調べて考える」ページが設定されている 日本文教出版は、 ・学習の進め方が最初のページに掲載してあることで学習の見通しがつけられる ・「考えよう！SDGs」のコーナーが各学年に設定されており、「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」が特設されている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
久米委員	社会を初めて学習する3年生について、各社見せていただきましたが、どの教科書でも表やグラフがたくさん出てきます。3年生は、算数でどれだけグラフを読めるようになっているかも関係すると思いますが、先生が指導しやすい、扱いやすいという点は、選定委員会で何か意見が出ていましたか。
栗山選定副委員長	算数でグラフを学習するタイミングと社会でグラフが出てくるタイミングが前後することもあります。3年生の社会で取り上げられているグラフは複雑ではないので、いずれの教科書でも指導について困るということはありません。しかし、教科書会社によっては配慮されていると感じる部分もあり、例え

	ば3年生の教科書ですと、東京書籍の105ページ、教育出版の115ページ、日本文教出版の113ページで、同じような事故のグラフが取り上げられているのですが、日本文教出版は100ずつのかたまりで区切られており、一般的な棒グラフよりとらえやすい工夫がされており、子どもたちにとって見やすいのではないかと考えます。
久米委員	学習したての3年生にとって、少しでも分かりやすい工夫がされている点が、日本文教出版の魅力の1つになると思います。もう1点、教育出版では地域の伝統、行事において、4年生では阿波踊り、6年生ではモズの古墳群が詳しく取り扱われていました。本市も学習の場面で「いずみ歴史さんぽ」を併用していると伺っていますが、社会の学習の中で「いずみ歴史さんぽ」を併用しやすい教科書はあるのでしょうか。
小川教育長	「いずみ歴史さんぽ」は教育委員会から発行しているものですので、私からその点について発言します。 副読本として社会科のみならず色々なところで活用するために発行したもので、どの教科書会社であろうと活用できます。例えば、「ムラからくにへ」というところで卑弥呼が登場しますが、「いずみ歴史さんぽ」では和泉市の黄金塚にある古墳から銅鏡が発見されているとあります。 メジャーな内容を、本市の歴史文化に結びつける副読本ですので、特にそれに合いやすい教科書はないと思います。 それでは、他にございませんか。
深堀職務代理者	東京書籍の教科書の下の方に、「学びのポイント」が記載してある点に興味をひかれました。特に6年生の歴史編で、なぜこうなったか、どうしてこのような出来事が起こったのかと理由を問うものや、Aという出来事がBという出来事にどう影響しているかという因果関係を問うものが含まれており、歴史に興味を持たせるのに非常に良いと思いました。また、日本文教出版では、どのようなところに目をつけて勉強していったら良いかということが書いてある「学び方・調べ方コーナー」を設けており、観察力・資料を活用していく力、表現力の基礎を身につけていくのに役立つと思いました。 東京書籍の「学びのポイント」の方が、同じページに出てくこと、背景に色がつけられていることから、見つけやすく、分かりやすいと思いますが、どちらの工夫も子どもたちにとって使いやすいのではないかと考えました。
小川教育長	日本文教出版と東京書籍どちらも推すということですね。 他にございませんか。
酉家委員	6年生の歴史において写真の質に着目しました。教育出版の写真が綺麗で見やすく、古い白黒の写真をカラー化している点は賛否あると思いますが、今の

	子どもたちが情報としてより分かりやすく、興味をひきやすいのではないかと いう印象を持ちました。
小川教育長	他にございますか。
中西委員	小学校の社会科では、6年生時の歴史が非常に重要だと思っています。中学校教育との接続において、歴史に興味・関心を持たせ、しっかりとした歴史観を身につけるスタートになると思っています。特に近現代史の、第二次世界大戦や、沖縄戦の被災について比較すると、3社とも適切に記載されていると思いますが、その中でも、日本文教出版が、第二次世界大戦での主な国・地域の犠牲者数の表があったり、沖縄戦での死者数等についても非常に詳細に掲載されていました。集団自決、特攻隊等について本文で記載しているのも日本文教出版だけであり、内容が充実しているという印象を受けました。
小川教育長	他にございますか。
小谷委員	私は、SDGsの観点で考えてみました。日本文教出版は「未来につなげる」、「考えよう！SDGs」というコーナーがあり、かなり力を入れて取り扱っていると感じました。未来を生きていく子どもたちに、社会のつながりや仕組みを社会科で学んでほしいです。その中から社会の課題を掘り下げて未来の社会をどう創造していくかが重要だと思っています。そこから、様々な課題を掘り下げていくことに魅力を感じやすい点も、日本文教出版が優れていると思いました。5年生の222ページ「考えよう！SDGs」の下に、問題を掘り下げ、よりよい未来を作る力を身につけようなど、ここから学んでほしいテーマを入れており、まさにSDGsの考え方で素晴らしいと思いました。どの学年においても、同じようにSDGsの視点を取り入れられているので、日本文教出版の教科書が、よりSDGsの視点を養えるのではないかと思います。
小川教育長	他にないようですので、審議をまとめますと、日本文教出版を推す意見が多かったと思います。そのポイントとしては、本市の子どもたちが複数の資料を読み取り、考えを深めていくうえで、分かりやすく見やすく、内容も充実した資料が提示されている点。SDGsと学習内容を関連付けて考えられる工夫がされているというところで、日本文教出版が適切であるということになります が、よろしいでしょうか。 【異議なし】 それでは、種目社会は、日本文教出版の「小学 社会」を採択することに決定します。

地 図

	続いて、種目地図について審議をお願いします。地図は「東京書籍」「帝国書院」の2社です。 東京書籍は、 ・「ホップ ステップ マップでジャンプ」のコーナーで、楽しい問いや作業に取り組めるようになっている ・「日本の歴史 世界とのかかわり」は、6年の歴史学習で活用できる 帝国書院は、 ・「広く見わたす地図」は160万分の1に設定されていて、3年生でも活用しやすい ・全ページに主体的な学びにつながる問い等が記載されている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
西家委員	3年生から地図帳を使用しますが、東京書籍は7～14ページ、帝国書院は7～20ページで、基本となる方位や地図記号などについて詳しく説明しているので、大変分かりやすいと感じました。3年生の教科書において、2社で違いがあるのか、選定委員会で交わされた意見があればお聞きしたいと思います。
大野選定委員	ご指摘のとおり、どちらの教科書においても3年生で地図の学習を始めるうえでの導入の工夫がされていました。違いとしては、帝国書院が21～30ページにかけて「広く見渡す地図」があり、地方ごとに最小限の情報が掲載された地図になっています。地図を初めて導入する3年生においては、あまりたくさんの情報が記載されていると分かりづらいところがありますので、「広く見渡す地図」が非常に見やすくなっています。学びを進めるにつれ、より詳細な情報が掲載されている地図を使用することになるため、3年生の導入段階としては、取り扱いやすい工夫がされているという特徴がありました。
西家委員	地図をまず俯瞰的に見渡すという点については帝国書院の方が特徴的だということですね。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	東京書籍と帝国書院は、対照的だと感じました。地形そのものから都道府県などを理解させる地図と、産業と関連付けたイラスト画が多い地図帳に分かれると思いました。東京書籍の46ページを見ますと、地図にイラストが多い感じがします。学年が上がるにつれて、地図を読み込めるようになっていく視点で見ると、東京書籍は後ろの方もイラストが多く、帝国書院はイラストが少なくなっている。中学校に接続する視点で考えると、情報量がある程度多い方がよいのではないかと思います。帝国書院は30ページほど多く、地図に加えてそれに関連した資料も多いと感じました。特に大阪府に関連したページも多く、自分の地域の学習にも繋がると感じました。

小川教育長	他にございませんか。
中西委員	帝国書院の情報量、特に大阪府に関連したページが多いという点は同感です。大阪、関西に関する情報が非常に豊富だと感じました。それと、社会科の議論で小谷委員から SDGs についての発言があり、どの教科も SDGs の視点でものごとを考えることが非常に大切だと思いますが、帝国書院は SDGs についてページを割いて掲載している点も評価できると感じました。
小川教育長	他にございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、本市の子どもたちが地図を使って学ぶうえで、多様な地図を扱っている点や関連した情報が充実している点、SDGs にも触れて世界の課題に触れている点などから、帝国書院が適切であるということになりますが、ご異議ございませんか。 【異議なし】 それでは、種目地図は、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図」を採択することに決定します。 算 数 次に、種目算数について審議をお願いします。算数は「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「啓林館」「日本文教出版」の 6 社です。 東京書籍は、 ・前後の学年内容を視野に入れ、児童の発達段階、単元の相互の関連や領域のバランス、学習効率、指導の時期などを考慮して、系統的・発展的・効果的に学習が積み上げられるように単元が配列されている ・「算数マイノートを学習にいかそう」では、数学的な見方・考え方を軸にしたふりかえりの例を取り上げている 大日本図書は、 ・巻頭に「算数の学び方」を設けて、学習の進め方を示している。学習の流れをサイクル状にしており、一つの学習が新しい学習に発展的に繋がっていくことが意識できるようになっている ・1年生の分冊以外は全学年の教科書が上下巻ではなく 1 冊になっており、目次で既習事項が確認でき、1 冊であることによりふりかえりや学び直しが、しやすくなっている 学校図書は、 ・「算数で見つけたい！ 考え方モンスター」を設定し、見方・考え方の例を示しながら意識して使えるよう工夫している ・3年生以上では、倍の概念を学習する内容を、通常の単元とは別に位置づけ、

	重点的に学習できるようにしている 教育出版は、 ・ 単元末「学んだことを使おう」、学年末「算数を使って考えよう」において、算数の学習と日常の場面を繋げる活動を取り入れている ・ 「はてな」から始まった学習が「なるほど」と納得して終わりではなく、さらに数や形を変えたらどうなるかな、これはいつでもできるのかな、という新たな問いを持たせ、児童の問いをベースに学習を進めていくことを促している 啓林館は、 ・ 巻末に「学びをつなげよう」を設け、前学年までの既習内容を適宜振り返ったり、学び直したりできるようにしている ・ 6年生の巻末には「未来へのとびら」のコーナーがあり、いろいろな職業の方に「お仕事の中で算数の考え方を使うことがありますか」とインタビューし、児童が算数の考え方をさらに広げるようにしている 日本文教出版は、 ・ 全学年の教科書に「自分で みんなで」の問題を設定し、まず自分で考え、ページをめくると「多様な考え方を知る」というように、学び合いの様子がイメージできるように工夫されている ・ レッツプログラミングのページが全学年に設定されており、前後左右の動きの指示やフローチャート、スクラッチの活用など、児童の発達段階に応じた課題に取り組むことで、プログラミング的思考を育むことができる作りになっている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
西家委員	デジタルコンテンツの活用について見てみましたが、充実しているのは2社でした。東京書籍は高学年の教科書で、動画で単元を学んだり、問題解決のシミュレーションに繋がる QR コードがたくさん載っているのが印象的でした。もう1つは日本文教出版で、こちらも QR コードから繋がるコンテンツが割と充実していて、そのコンテンツに沿って学びが構築されていく分かりやすい形が印象的でした。デジタルコンテンツについて、この2社で違いはあるのか、選定委員会で何か意見があればお聞きしたいと思います。
栗山選定副委員長	いろいろなところにデジタルコンテンツが散りばめられていて、ヒントを取りやすいのは東京書籍でした。しかし、ご指摘のとおり日本文教出版の方が、QR コードに種類があり、活用場面に応じてはっきり明示されるとともに、整理されているため、使いやすいと思います。コンテンツ量が多いのは東京書籍、整理されていて使いやすいのは日本文教出版という意見がありました。
小川教育長	他にございませんか。

久米委員	少し視点は変わりますが、不登校の児童が自宅などで学習するうえで、教科書、もしくは参考書のように使えるのであれば、デジタルコンテンツは非常に有効だと思います。本市ではキュビナという AI ドリルを使用していますが、それと併用し、自宅で学習できる点で、日本文教出版は 6 種類に分けられている QR コードからデジタルコンテンツに入るので、分かりやすく、使いやすいのではないかと感じました。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	前回採択時に、教科書にヒントが多すぎると子どもが思考しなくなる、自分たちで問題解決に向かう主体的な学びの視点が大事だという意見が出されたと思います。その視点で見ますと、啓林館の教科書は、イラストで児童が意見を言っている場面で、最初からアンダーラインで色付けされている箇所があり、見方によると、子どもたちが考えるプロセスを踏みにくいのではないかと感じました。QR コードの件で 2 社が分かりやすいというご意見がありましたが、日本文教出版はヒントの出し方という点でも先回し過ぎないので、そういう意味でも配慮されているのではないかと思います。
小川教育長	他にございませんか。
小谷委員	私は、5 年生の円周率について、教科書会社で取り扱いが微妙に違うと感じました。東京書籍であれば、まとめのところに 3.1 倍と書いていて、日本文教出版は、185 ページに円周は直径の約 3.14 倍と言い切っているなど、取扱いの違いが見受けられましたが、学校ではどのように触れているのか教えていただきたいです。
大野選定委員	円周率を導く過程において、円の内側に沿って正六角形を描くことや、円の外側に沿って正方形を描くことから考えて、円周は直径の 3 倍から 4 倍というところを導き出し、教科書によってはさらに正十二角形等を扱って、より近い数字を求めていく場合もあります。さらに、実際に紙テープやさし・測定マシンのようなものを作ったりして、何種類かの円を測定し、3.14 まで導き出す方法を学校では活用しています。
久米委員	中学校 1 年生の数学に繋がっていかないといけない学年である 6 年生の教科書で、例題の多さや難易度、挿絵の有無という点について何か意見は交わされていますか。
隅埜選定委員	中学の接続という点で言いますと、学校図書が「中学校への架け橋」という扱いで、別冊にして、6 年生の復習や、見方・考え方のまとめを取り扱っていました。その後、中学校のさわりの内容として、文字式や、方程式、作図の部

中西委員	分では垂直二等分線なども取り扱っていました。他の5社についても同様の内容は6年生の最後の部分で取り扱っていましたので、いずれの教科書会社においても、中学校への接続という部分は意識されているという意見でした。
大槻選定委員長	小学校の算数で図形が使われることが非常に多いと思いますが、図形の領域について各社の比較はいかがでしょうか。 6年生の「拡大図と縮図」の単元で各社見比べてみると、最初の部分で東京書籍では88ページでテレビ画面に映った富士山を、大日本図書は162ページで家の写真、学校図書は170ページで竪穴式住居の写真、教育出版は170ページで図形入りの学級旗、日本文教出版は158ページで時計の写真、啓林館は140ページで三角の形をした建物の写真を載せていました。 三角形や台形、円など、様々な形として捉えていますが、図形が苦手な子どもたちにとっては教育出版の図形入りの学級旗と、日本文教出版の数字の入っている時計が分かりやすいと感じました。大きな形の他に小さな図形が着目しやすいように描かれていたり、特に日本文教出版は数字が大きくなったり、横や縦に伸びたりと、色々なものが見られる。視覚の部分で、子どもがいろいろな気づきができるような配慮がされていると感じたのは日本文教出版という印象でした。
小川教育長	他にございませんか。 ないようですので、1社に集中していないのですが、押さえているポイントは日本文教出版が多いと思います。 まとめますと、本市の子どもたちにとって、デジタルコンテンツが使いやすく充実している点、算数が苦手な子どもの視点で配慮がされている点などから、日本文教出版が押さえている点が多いと思います。日本文教出版でよろしいでしょうか。 【異議なし】 それでは、種目算数は、日本文教出版の「小学 算数」を採択することに決定します。 理 科 次に、種目理科について審議をお願いします。理科は「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「啓林館」の5社です。 東京書籍は、 ・「問題をつかもう」、「問題」「予想しよう・計画しよう」「観察・実験」「結果」「考察しよう」「まとめ」というように、問題解決型で構成され、配色の変化で工夫されている

小谷委員 小川教育長 西家委員	・「物のあたため方」という学習では、日常生活でよく扱う身近なスプーンを使って実験を行っている 大日本図書は、 ・問題、予想、計画、実験、結果、考察、結論というように問題解決型になっている ・父親が赤ちゃんを抱っこしている写真が掲載されているなどジェンダー平等の視点が意識されている 学校図書は、 ・巻頭で、「理科モンスター」を紹介し、理科の見方・考え方についてのヒントのキャラクターとして活用することで、学習ではこういう力を意識してほしいという工夫がされている ・ジャガイモの日なた日かげでの生育の違いなど、比較の写真がわかりやすく、見やすい 教育出版は、 ・学習のつながりが記載されていて、4年生で学んだ内容が、6年生ではこういう場面で取り扱われ、中学校でこのようにつながっていく、というように学習のつながりを意識している ・本文の大切なキーワードにラインが引かれており、重要語句がチェックされている 啓林館は、 ・単元の最初などインパクトのある写真を用いて目を引くように学習に入っており、どういう見方を働かせるべきかについて意識されている ・実験の比較写真が多いのが特徴で、「物の燃え方」の学習では、4つの条件設定があることや、「水溶液の実験」でも5本の試験管から考えるようになっているなど、多種多様な記載がされている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。 どの教科書会社も非常に工夫されている中で、学校図書が物質変化などの捉えにくいものについて、とても分かりやすく表現されていると思いました。例えば、6年生の16ページから17ページやそれ以降も、青地に物質の色を付けるなど、一緒に実験をしている感じがすると思いました。関連して、物質の燃え方についてみると、文字で詳しく書かれているのが教育出版です。紙面を大きく捉えているのが大日本図書です。各社特色がありますが、あたかも実験をしているように見える学校図書が視覚的に分かりやすいと思いました。 他にございませんか。 全般的な話になりますが、どの教科書も問題から予想、計画、実験、結果、考察というように、流れが構築されていて、教科書のとおりに使っていけば、教員の方にとって大変教えやすい、児童に考えさせ、対話できるような仕組みに
--------------------------------------	--

小川教育長	なっていると感じました。ただ、全般的にどの教科書も説明が丁寧で密度が高いのでボリュームがある。教員から見て、限られた時間で実験をどうこなしていくかという点は気になるのではないのでしょうか。
栗山選定副委員長	授業での実験、観察の扱いということですね。現場ではどうでしょうか。 丁寧に掲載されていることで、経験の浅い教員が大切なことを確実に学ばせていくことができる反面、すべての単元を同様に丁寧に扱うことは、時間的に難しいです。そのため、特に観察・実験については、どの単元を重点的に行うのかを年間指導計画においてきちんと定めることが重要となります。観察・実験を重点的に行わない単元については、教科書を用いて学習を補うため、内容がわかりやすく充実している、見やすい教科書が望ましいということになります。
西家委員	観察・実験がある授業は、子どもたちが大変楽しみにしていると思いますが、教科書の写真の質にも注目してみました。画像の解像度の高さなどを見ると、大日本図書は非常に綺麗で艶があり、インパクトのある、興味を引きやすい写真だと感じました。一方、啓林館と教育出版は教科書が小さいことで仕方がない部分もあると思いますが、インパクトに少し欠ける印象を受けました。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	実験において安全面への配慮は非常に大切だと思います。小学校で身につけた観察・実験技能が基本となり、中学校への学習に繋げていくものだと思います。教科書の内容を実験中に確認するという場面があれば、小さいサイズの方が扱いやすいのではないかという印象がありますが、その辺りで何か意見はありましたか。
栗山選定副委員長	内容については実験を行う前に押さえておりますので、理科室で実験を行う時には教科書を机の下に片づけていることがほとんどです。その点においては、教科書の大きさはそれほど影響がありません。しかし、教室での学習の際に教科書、ノートを広げて、さらに1人1台学習用端末を活用するとなれば、大きいサイズよりも小さいサイズの方が扱いやすいという場面もあるため、サイズが小さい啓林館が取り扱いやすいという意見が出ました。
久米委員	小さいサイズが取り扱いしやすいということですね。
深堀職務代理者	理科の学習指導要領の目標に、自然に親しみ理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次の通り育成すること

	をめざすと書かれており、理科の見方・考え方を働かせることは、基本的なことだと認識しています。どの教科書もこの点はしっかり押さえていて、例えば、登場人物のつぶやきを使って子どもたちが着目しやすいように工夫されていると思いました。私は理科に非常に苦手意識があるのですが、そういう立場から言うと啓林館の教科書は、理科の見方という部分にマーカーで印をつけて分かりやすくしてくれているので、理解しやすいのではないかなと感じました。
小川教育長	他にございませんか。
中西委員	各社それぞれの特徴がありますので、非常に難しい判断だと思うのですが、子どもたちの興味・関心や新しいことへの問題意識、探求心を育てるという工夫を見れば、啓林館が優れているのではないかという印象です。例えば、3年生で「植物探検シート」があり、子どもたちの興味・関心を育てていくという点は非常に評価できるのではないかと思います。また、STEAM教育という用語が使われていますけれども、用語の使用の是非はともかく、将来の学問領域であるサイエンスやテクノロジー、エンジニアリングといったことへの関心を育てる姿勢は評価できるのではないかという印象を受けました。
小川教育長	他にございませんか。 啓林館を推す声が多いということになります。審議をまとめますと、本市の子どもたちが、理科の見方・考え方を働かせ、その上で観察や実験に向かうことができること、また新しい帰途につながる意識を醸成し、探求心を育てていく内容が充実している点などから、啓林館が優位であるということになりますが、ご異議ございませんか。 【異議なし】 それでは、種目理科は、啓林館の「わくわく 理科」を採択することに決定します。 生 活 次に、種目生活について審議をお願いします。生活は「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「光村図書」「啓林館」の6社です。 東京書籍は、 ・学びのプロセスが見える化されるとともに、指導と評価の一体化が、マークや言葉などで示され、配慮がある 大日本図書は、 ・板書例や話し合い活動例、表現方法が写真でわかりやすく記載され、子どもたちからの思いや願い、思いに基づいた多様性のある学習展開例が示されて

	いる 学校図書は、 ・子どもたちの思いや願いを明確にする展開になるように活動への必然性を持てるような具体的な言葉の例示がある 教育出版は、 ・学習を通じて感じたことや分かったことを自分の言葉で表現できるように、教科書の下欄に書き込みできる箇所を設け、すぐに思ったことや考えたことを書き込めるようになっている 光村図書は、 ・絵やイラストを「ヨシタケシンスケ」さんが描いていてなじみやすく、キャラクターのセリフが興味深く、「失敗しても大丈夫」という温かい思いにあふれている 啓林館は、 ・学びの連続性が見えて、教科書の右下にめくり言葉があり、これを活用することで主体的・対話的で深い学びの実現につながる などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
小谷委員	どの教科書も工夫されていますが、学校図書が、街へ出て、人に会って、野菜、生き物などを、視覚的に良く表しているという印象です。1年生、2年生でいうと、そういった興味を引くところが重要であるのと、例えば、写真だけで、街へ行っただけの人に会いたいというその人の気持ちが伝わってきたり、虫の気持ちが伝わってきたりして、何かやってみようという行動に繋がる気がしました。その反面、細かな話も「物知りノート」で整理されているところも、好奇心を高め、学習意欲を高める編集で抜き出されて良いと思いました。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	幼稚園、保育園から小学校に入って生活科を学ぶというスタートカリキュラムの視点で見ってみました。いずれの教科書でも、(上)の教科書のはじめに取り扱われていましたが、特に東京書籍と啓林館で、ページの下の方を切る形で、サイズを少し小さくして際立たせて取り扱っているという印象を持ちました。一方で、生活科は3年生の理科、社会に繋がっていく教科になるのですが、そういう視点で考えたときに、どういう特徴があるかということについて、選定委員会で意見は交わされましたか。
隅埜選定委員	低学年から中学年への接続という点については、すべての教科書会社で取り扱っていましたが、触れ方については、少し違いがありました。学校図書と大日本図書については、「こんな3年生になりたい」という形で取り扱っていましたが、東京書籍、教育出版、光村図書については、3年生の「こんな教科につながりますよ」という形で触れておりました。啓林館につきましては、下巻の

	最後で見開きのページで少しサイズを変えまして、幼稚園・保育園・こども園で学んだこと、生活科の中で学んだこと、そして3年生の教科の学習、さらに将来、学んだことが広がっていくという形で大きく取り扱っていたという意見が出ました。取り扱いの点で充実しているのは啓林館ではないかという意見が出ました。
深堀職務代理者	今のお話で、啓林館がスタートカリキュラム、3年生への接続など「学びの連続性」の視点で工夫されていることがわかりました。 また、「まなびの連続性」という意味で言いますと、教科書の右下の方にめくり言葉と言う、次の学習に繋がるようなことが書いているのですが、これも連続性という意味で評価できるのではないかと考えています。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	生活科は、先生方にとっても教えるのが非常に難しい教科だと思っていますが、保育園、幼稚園から上がってきた1、2年生の子どもたちの生活の中で気づきや思いをいかに聞き出して、学習に繋げていくかということが授業のポイントになってくると思います。経験年数の少ない先生や低学年を初めて担当することになった先生方にとっての使いやすさが非常に求められると思います。私が見せていただいた中では、啓林館のイラストについて、子どもたちの共感を得るような可愛いキャラクターが、短い話し言葉で書かれていて、対話文のページがとても多かった。話し言葉をそのまま使って先生方が授業をできるのではないかなというぐらいで、そういう意味では、啓林館は分かりやすく感じましたが、選定委員会ではそういう意見は出ましたか。
大槻選定委員長	そのような視点で見ますと、東京書籍、光村図書、啓林館の3社が、教員の場の設定の仕方、ワークシート、板書例、吹き出し等による教員の声掛けなどが記載されており、またそれが最後まで記載されているのではなく、「子どもに考えさせるように表記している点が良い。」などの意見がありました。
久米委員	よく分かりました。続けて、あと2点ありまして、タイトルやめあてに着目して見ましたが、いずれの教科書においても、多少サイズの違いはありましたが、太字にしたりフォントを工夫したりすることで、子どもたちが見やすくなる工夫がされていたと思いました。教科書サイズについても比べて見ましたが、小学校1年生、2年生ということですので、大きい方が写真や文字が大きくなるので見やすいという点もありますが、1年生はまだ体が小さいので、開いてみる、持つ、ランドセルに入れるといった、取り扱いのしやすさという点で考えると、啓林館が使いやすいという印象を感じました。
小川教育長	他にございませんか。

西家委員	どの教科書も現在の教科書よりも QR コードがたくさん出ていますが、特に啓林館の QR コードは、「学びウェブ」「デジタル単元ブック」等、動画が豊富で音声などが多く含まれていて、子どもたちにも魅力的ではないかという印象を持ちました。
小川教育長	他にございませんか。 ないようですので審議をまとめますと、啓林館を推す声が多いと思いますが、そのポイントとしましては、本市の子どもたちにとって、スタートカリキュラムや3年生への接続も含め、教科書の右下にめくり言葉があるなど「学びの連続性」が見える点、子どもたちの気づきや考えを引き出す支援がされている点、QR コードの内容の充実や扱いやすいサイズである点などから、啓林館が適切であるということになります。ご異議ございませんか。 【異議なし】 それでは、ご異議ないようですので、種目生活は、啓林館の「わくわく（いきいき） せいかつ」を採択することに決定します。 音 楽 次に、種目音楽について審議をお願いします。音楽は「教育出版」と「教育芸術社」の2社です。選定委員会からは、 教育出版は、 ・全学年の巻頭に「学習マップ」が記載されていて1年間の学習内容の見通しを持つことができる ・「まなびリンク」を活用することで楽器の演奏の仕方や、作詞者の思い等を動画で学習することができるようになっている 教育芸術社は、 ・題材名、学習活動、学習目標がひとめでわかるように明確に示され、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる紙面構成になっている ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏の技能について、分かりやすいイラストや写真付きで、スモールステップで双方が身につくように工夫されている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
小谷委員	私は音楽を楽しく学ぼうと、教育出版が分かりやすく学べるのではないかと思います。巻頭に学習マップがあり、例えば、5年生の14ページに、歌う前の低音の働きを感じ取って練習をしようという大きな見出しが書かれており、意識しながら学習できます。国語でも問いをたてようというものがあったと思いますが、何を意識したらいいのかが分かりやすくなっていると思いました。もちろん、教育芸術社でも見出しは入っていますが、目立つようにしている点

	で教育出版が優れているのではないかと思います。
小川教育長	他にございませんか。
西家委員	教育出版は、「学習のめあて」や「学びナビ」などが示されて、子どもたちが見通しをもって学習しやすいようになっていると感じました。ただ、教育芸術社は、ピクトグラムのように「考える」「見つける」「うたう」などの学習内容がアイコンで示されていて、子どもたちにとって学習のステップが掴みやすくなっていると思いますし、教員にとってもそれぞれの活動をアイコンで意識させることができるのではないかと感じました。ピクトグラムがあると音楽が苦手な子どもにとっても、どのようにして学ぶのかが一目でわかりやすいという点で、教育芸術社が良いのではないかと思います。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	ピクトグラムは確かに見やすいと感じました。子どもたちが学習を進めるうえでの助けとなる情報がより必要ではないかと思います。小学校１年生の教科書を見比べると、どちらの教科書も最初から歌詞や楽譜が記載されていて、中にはト音記号やフラットなどの記号が入った難しい楽譜が使われているものもあります。特に１年生はひらがなから勉強している段階なので、楽譜を見た時に、それが読めるのかというところで比較すると、教育出版の方が、文字の情報が少なく文字が大きい・譜面そのものが簡単であるなど、理解しやすいような配慮をされている印象を受けました。
小川教育長	他にございませんか。
中西委員	どちらの教科書も非常に良くできていると思いますが、小学校の音楽で一番大切だと思うのは、子どもたちが音楽に馴染んで好きになることや、とっつきやすさを感じて愛着を持つことだと思います。教育芸術社の表紙は非常に可愛らしくて親しみが持てるイメージになっています。そのような点も含めて教育芸術社が良いのではないかという感想を持ちました。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	音楽では３年生からリコーダーが始まりますが、リコーダーが１つの山場ではないかと思っています。得意な子どもは特に指導しなくてもどんどん吹けるようになって、新しい曲に進むと思うのですが、一方で、苦手な子どもにとっては、ばらばらに指を動かすことや、息づかいや強弱で音が変わってくことに大変苦労しているのではないかと思います。それで音楽が嫌いになっては困るので、その点丁寧に扱っている教科書が良いのではないかと思います。

小川教育長	もちろん、どちらもそのような視点で丁寧に取扱っていると思いますが、教育芸術社はタンギングの音の出し方を3年生の24ページから27ページで非常に丁寧に取扱っているのと、穴の押さえ方も丁寧なので、教科書を見る限り教育芸術社の方が良いのではないかという印象を持ちました。 他にございませんか。 ないようでしたら、私の方では国歌「君が代」について、全学年を通じて指導するものですので、その点で両社見比べてみました。先ほど1年生に字が難しすぎるとの意見がありましたが、いずれの教科書も全体の歌詞表現に差はありませんが、その説明については教育芸術社の方はシンプルで、大きな活字表記になっていますので、分かりやすいかなと思いました。教育出版の方は説明の文章の方は長く、小さな明朝体で記載されています。その中で学習時期にもよりますし、もちろん、歌の指導ですのでそこをどう活用するかは現場にあると思いますが、1年から6年まで扱われる国歌のことですので、教科書会社で統一感をもって同じ表現にしているとは思いますが。子どもたちが直接見た時には、教育芸術社の方が馴染みやすいかなという印象を受けました。 その他にご意見はございませんか。 ないようですので、まとめますと、2社でそれぞれ意見が分かれる部分もありますが、本市の子どもたちが、まず何より音楽を楽しめる、考え活動しそして好きになる、分かりやすいという点などから、教育芸術社の方を推す意見が多かったように思いますので、種目音楽は教育芸術社でよろしいでしょうか。 【異議なし】 それでは、種目音楽は、教育芸術社の「小学生の音楽」を採択することに決定します。 図 工 次に、種目図工について審議をお願いします。図工は「開隆堂」と「日本文教出版」の2社です。選定委員会からは、 開隆堂は ・各題材では、3つの目標のうち1つを中心的な目標として強調して示し、主な目標に対応したキャラクターが児童の学習を深める支援を行うよう全編を通して編集されている ・作品に図番番号を付けることで、「何番の作品を見てごらん」など子どもたちに注目させるときに指示しやすくなっている 日本文教出版は、 ・各学年の巻頭にオリエンテーションページが掲載されており、各学年で大切にしたいことが共有できる
-------	---

	・「つながる学び」という項目で教科横断的な学びが示されており、他教科での学習を生かしたり関連付けたりした題材や事例が掲載されているなどと答申をいただいています。 審議いただく前ですが、私から一言、図工に関しては申したいことがございます。本市では、「文化芸術科学ふれあい体験事業」として、市内の小学校 6 年生全員が、久保惣記念美術館を見学しています。本物の美術品を見学、鑑賞することによって、子どもたちに芸術に対する興味や関心を持つことを目的に実施しているところです。美術品を直接見ることで、実際の大きさや色合い、質感などを体感することができ、本当に貴重な体験になっています。その 6 年生のふれあい体験に向けて、各学年とも教科書を活用し、鑑賞する力を育ててほしいと思います。その辺も踏まえて図工の教科書に関して何かご意見ございませんか。
久米委員	子どもたちにとって創作活動は、小学校に入ってから初めて始まるものではなく、幼稚園や保育園、こども園から身に触れて馴染んでいると思います。1 年生（上）でどちらの会社も、その繋がりの部分はしっかりと押さえていますが、特に日本文教出版が、最初の 1 年生の導入で幼稚園や保育園、こども園で色々な創作活動をしてきた様子が非常に伝わってくるかなと感じました。一方で、小学校 6 年生から中学校に繋がっていくという視点で各社比較したところ、将来的な職業選択に繋がる視点が多く盛り込まれているという点で開隆堂が非常に配慮されていると感じました。
小川教育長	他にございませんか。
中西委員	図画工作の授業をするうえで、子どもたちのやってみたいという創作意欲を高めることは、一番大切な要素だと思っています。その点で、開隆堂は分かりやすさと楽しさで子どもたちを非常に引き付けるのではないかと思います。一例をあげますと、「わたしはデザイナー12 さいの力で」、「紙が奏でる形と色のハーモニー」、「どろどろカッチン」など題材名のネーミングを工夫し、児童に分かりやすく、また、そのような題材名を使った授業展開をしていくことで、教員も使いやすいのではないかと感じました。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	小学校の図画工作は、他の教科と少し違っている点があると思います。絵を描いたり、工作をしたりするときに、教科書をずっと横に置いて、教科書を見ながら授業するわけではないと認識しています。前回の採択の時にも出ていましたが、授業での活用としては頻繁に教科書を見るのではなく、基本的には子どもたちの創造する力を大切にしている。ただし、アイデアが浮かばない子ども

	もに関しては教科書を見て、その内容をヒントにそこから工夫しているとお聞きしたと思います。そうしますと、特に、経験年数が比較的少ない先生が、子どもにアイデアを与える時に教科書のここを見て、というように使える内容が充実している教科書、指導しやすい教科書が良いのではないかと考えていますが、いかがでしょうか。
栗山選定副委員長	日本文教出版が各巻の巻末に「材料と用具のひきだし」ということでまとめて記載されています。それに対して、開隆堂は一部巻末に記載されているものの、その題材を扱うページに基本的な手順が記載されている点、また、小さなことかもしれませんが作品番号が記載されているという面でも、指示のしやすさという点で経験年数の少ない教員にとって使いやすいという意見が出ました。また、両社ともに他教科との繋がりについての記載はありましたが、開隆堂は関連する教科に加えて、「〇〇考えてみよう」、「〇〇調べてみよう」という記載があり、教員自身の視野を広げる手助けに繋がるという意見も出ました。
深堀職務代理者	ありがとうございます。どちらもヒントになるようなことは書いていますが、開隆堂はキャラクターの吹き出しがあり、個人的に分かりやすい言葉がけなのかなと思いました。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	現在も、小中学校でマスクを着用している児童生徒がいますが、マスク着用についての配慮は必要なことだと思います。日本文教出版はマスク着用の写真が比較的多いように感じました。配慮は必要ではあるものの、創作活動をしている子どもたちのいきいきした表情を、写真を通して見ることで子どもたちの創作意欲も高まるのではないかと思います。その点において開隆堂の方が魅力を感じました。
小川教育長	他にいかがでしょうか。
小谷委員	どちらも素晴らしい教科書だと思いましたが、あえて言いますと、小学生の時期に五感を使ってどのように創作性を育んでいくか、そして、その努力を育んでいくかが重要と思っています。日本文教出版では自然を感じる、自然から創造するといったところに力を入れているように見えました。たくさん土をこねたり触ったり、葉っぱや木を集めるとか、そういった中で創作していくというところが3、4年生にも書かれていますし、その延長でさらに5、6年生にはこういったアートができるよ、というような空間までいっているところが、1つ連続性があるって学んでいるのかなと思いました。開隆堂で1つ面白いなと思ったのは、身体全体を使ったアートみたいなものが書かれていて、絵を描く従

小川教育長	来の概念だけではなく、色々な技術を学べるのではないかと思います。 他にございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、本市の子どもたちが、興味を持って取り組める、分かりやすく、楽しそう、やってみたいと感じさせる点などから、開隆堂が適切であるということになりますが、ご異議ございませんか。 【異議なし】 それでは、種目図画工作は、開隆堂の「図画工作」を採択することに決定します。 家 庭 次に、種目家庭について審議をお願いします。家庭は「東京書籍」と「開隆堂」の2社です。選定委員会からは、 東京書籍は ・「生活の課題と実践を変えるチャンス」のページで4つの視点で自分の生活を見直すことができる 開隆堂は ・多くの単元の導入が「なぜ」「どうして」等、疑問を投げかけ、児童に考えさせる形になっている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
久米委員	まず、印象的だったのが、調理実習と裁縫手芸のページを多く割いていたことです。調理実習が、コロナ禍でなかなか実施しにくい状況にありましたが、今後、配慮しつつ調理実習が各学校で行われていくと思います。各社ともに非常に分かりやすく写真も多くて編集されている印象がありました。調理実習も裁縫も、子どもたちにとっては楽しい学習内容であると思いますので、授業では全体説明を行ってから、実習がスタートすることになると思いますが、調理であっても手芸であっても作業の早い遅いが子どもたち、班によっては出てくると思います。そんな中で個別に全員に説明をすることは、先生お一人では非常に難しいと思います。そんな中で頼りになるのが教科書になるかなと思います。実際に調理実習や裁縫の授業を進めていくうえで、子どもたちにとって分かりやすいかどうかという点については、その視点で両社に何か差異はありますか。
隅埜選定委員	ご飯の炊き方を記載している部分で違いが分かりやすいと思います。東京書籍では46、47ページ、開隆堂では50、51ページを見ていただくと、いずれの教科書においても、見開きのページで、概ね左から右にかけて調理が進んでい

	くように記載されています。また安全に配慮することについても両社ともに記載されています。こういった点では同様と思いますが、比較してみますと、開隆堂は作業の欄の背景をオレンジ色で色づけされていて、どの部分を見るのかが分かりやすいという印象を持ったという意見がでました。また、その開隆堂のオレンジ色の下には、水色の欄がありどのタイミングでどんな調理器具を使うのかが分かるようになっていましたので、その部分についても分かりやすいのではないかと意見が出ました。調理実習だけではありませんが、学校で学んだことをいかに家に帰ってから実践できるかも大きいかと思います。保護者さんの助けをあまり借りなくても、自分自身で何かを作っていくことがすごく重要なところではないかなと思いますので、そういったところを叶えられる教科書が望ましいと思いますので、そういう点では、開隆堂の方が分かりやすいのではないかと意見でした。
小川教育長	家庭科の実践という観点が出てきましたが、せっかくですので保護者の立場の木岡選定委員さん、何かございますか。
木岡選定委員	子どもが教科書を参考にして何か作る、取り組むという観点から言いますと、開隆堂の方が、確かに見やすく、分かりやすいという印象を受けております。教科書が単なる学校での勉強のツールだけではなくて日常生活でも使えるのは魅力の1つだと思っています。そういう意味でも、子どもたちが使いやすい、見やすいという観点を大事にしていいただければなと思います。
小川教育長	久米委員よろしいでしょうか。
久米委員	分かりました。ありがとうございます。家庭での実践ということと、子どもたちが見やすくという点ですが、家の中とかで案外英語表記があったりとかして、当たり前のようにアルファベットが並んでいるのを見て、大人は理解しているのですが、子どもにとっては実は難しい点があります。開隆堂の63ページですとタグにサイズとかクオリティとか英語で書かれているのですが、ジスマークとかエコマークとかが、私たち普通に見ているのがカタカナを実は読んでいなくて、アルファベットで読んでいる部分があります。そういう外国語も家庭の中でも関連付けることがされている点において、開隆堂はよく配慮されているかなと感じました。
小川教育長	他にございませんか。
小谷委員	家庭科となると、衣食住の術を学ぶ中で、食と衣は割と身近なのでしっかりと学びやすいと思いますが、どうしても住の方がまだなかなか興味を持ったりしにくいところもあるのではないかと思います。そこに少し着目して教科書を見比べてみますと、冬の暮らし方、やはりこれは1つ重要なポイントであり

	まして、東京書籍は、暖かい住まい方は環境をよくしてストーブを的確に使って、暖かく服を着ましょう、日光を利用しましょう、そんな切り口で書かれていると思います。もう一步踏み込まれているのが開隆堂かなと思ひまして、住まいがどうあるかというところまで踏み込んでいるように思ひました。これは、5、6年生でいきますと70、71ページ辺りなのですが、日光を活かすにしても、保温をどうするか、建物としてもどうするかが一歩踏み込んでいるので、生活プラス科学的に暖かい住まい方をどう考えるかに繋がる。今、非常に省エネ時代とかゼロエネルギー時代とか言われている中で、住宅でも断熱性が重要になっていて、カーテンをするだけではなく、建物自体の断熱性が重要なので、そういうところにまで踏み込んでいるのが開隆堂と思ひました。
小川教育長	他にございませんか。
西家委員	左利きの子どもたちに対する配慮ですが、どちらも巻末に「包丁での材料の切り方」「皮のむき方」「針と糸での縫い方」は、同等の大きさの写真で説明されていて、どちらも配慮がされている印象を受けました。
小川教育長	他にございませんか。
小谷委員	もう1点、家庭科はやはり生活に密着しているということで、社会の課題と繋がりやすいと思ひますのでSDGsの観点も重要だと考えます。いずれの教科書もSDGsが書いていますが、東京書籍では、61ページに、ワンガリ・マータイ博士の「もったいない」という言葉のエピソードの紹介があり、日本の伝統的な言葉を紹介して子どもたちにしっかり伝えている点がいいなと思ひました。それから、東京書籍の43ページで、SDGsを大きく載せて、その下に関連ページも記載されているとか、そういった点で見るとあまりSDGsが明確には表示されていませんが、それに対して、開隆堂は「持続可能な社会のために」という単元を教科書の最後132ページから取り扱われていることや、78・79ページにも5年生の最後の扱いでSDGsの視点が取り扱われている点でこれからの未来を創っていく子どもたちにとって、家庭科という教科でSDGsの視点をより取り上げている点では開隆堂が適しているのではないかとと思ひます。
小川教育長	他にございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、調理実習の手順などがよりわかりやすく記載されている点やSDGsの視点がより多く扱われている点などから、開隆堂が適切であるということになります。ご異議ございませんか。 【異議なし】 それでは、種目家庭は、開隆堂の「わたしたちの家庭科」を採択することに

決定いたします。

保 健

次に、種目 保健について審議をお願いします。保健は「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」「文教社」「光文書院」「学研」の6社です。

東京書籍は、

- ・知っておくと役立つ「豆知識」や身につけておくと役立つ「スキル」があり、学習の理解を深めたり、実生活で生かしたりできるような工夫が資料として掲載されている
- ・写真やイラストは、男女の数に偏りがないように配慮されており、性別の表現は「男性」「女性」の固定観念を生まないように配慮されている

大日本図書は、

- ・さまざまなマークが用意されており、学んだことを「学校」だけでなく、「家庭」「地域」でも生かすことができるマークもあり、わかりやすく説明されている
- ・折り込みカードが付属しており、各章の学習の流れや活動を行うヒントが示されている

大修館書店は、

- ・学習内容に興味・関心をもって主体的な学びをスタートさせるために、各章の「とびらのページ」で健康や安全について、著名人とキャラクターの対話形式を取り上げている
- ・「保健」と「体育」を関連させたコラム「体育の窓」を中心に、健康と運動との関連について具体的な考えが持てるように工夫している

文教社は、

- ・学習のめあてを示し、Mission という形で学習をステージごとに分けてすすめていくようになっており、さまざまなキャラクターが学びのヒントや疑問をつぶやいているので、必要な対話や見方・考え方が働くように工夫されている
- ・各単元の最後に「わたしの〇〇宣言」があり、学んできたことを自分の生活に生かせるように、自分の言葉で記述できるようになっている

光文書院は、

- ・内容はシンプルでわかりやすくなっており、各章に QR コードを掲載し、教科書の内容の理解を深めるための資料や動画を見ることができる
- ・成長には個人差があることや一人ひとりの個性を認め合い尊重することの大切さを理解できるよう強調している。また、性の多様性にふれ、性的マイノリティの児童が安心して学習に臨めるよう配慮されている

学研は、

- ・各項目で、「導入」のあと、「①自ら取り組む活動」「②対話的な活動」「③活用」で構成し、身につけた知識をもとに、自己の課題を見つけその解決に向

	けて思考・判断・表現力を養うことができるようになっている ・学びをより広げたり、深めたりするための資料「ほけんのはこ」をまとめて提示している などと答申をいただいておりますが、何か意見をお願いします。
酉家委員	保健の授業は、体育の授業時間の割り当ての一部を使って行われていると思いますが、実際にこの教科書を使って学習する時間は、それほど多くないと思います。実際に年間を通じてどれくらいの授業時間でこの教科書を用いられているのかをお聞きしたいと思います。
栗山選定副委員長	小学校 3、4 年生は体育の年間標準授業時数が 105 時間となっています。そのうち保健の学習は年間 4 時間程度です。5、6 年生の年間標準授業時数は 90 時間で、そのうち保健の学習は 8 時間程度です。限られた時間での学習となるため、教科書自身がボリュームのあるものよりは、シンプルなものが望ましいと思います。保健の授業において更なる教材等が必要な場合、追加で情報を提示する方が授業としては進めやすいと考えます。実際に調査研究報告の中でも、シンプルな構成になっているものや、ページ数そのものも少ないものを使いやすいという意見が出ました。ページ数だけでみると、2 冊合わせて、光文書院が 108 ページ、大日本図書が 116 ページ、東京書籍、大修館書店、文教社が 122～124 ページ、学研が 140 ページでした。
酉家委員	ページ数に応じてかなり時間が少ない中で教科書を使用しないといけないということだと思います。そうすると、内容についてはある程度優先順位がつけられてありコンパクトにまとめられている教科書の方が、実際に教員が使いやすいということでしょうか。
阪下選定委員	情報量という視点で言いますと、東京書籍と学研は、教科書に書き込みをする箇所数が多くなっています。情報量も多く、充実していることにはなりますが、これを逆にデメリットとして見ますと、限られた時間の中で学習することになるため、教科書に追われる部分も否定できないという意見がありました。先ほどの副委員長の説明とも重複しますが、必要な情報については、教員が提示し、QR コードを活用して追加の資料を見せることも可能という意見も出ました。
酉家委員	追加で必要な部分については、先生の提示が可能と聞いて、できるだけシンプルな方が良いということがよく分かりました。必要な情報がある程度精査されている光文書院が一番精査されている印象です。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	今の時代、スマホやタブレットなどデジタル機器が不可欠になってきていま

	すので、その付き合い方を学習するという面で触れているページはどこかなという視点から見ましたが、教科書によってパソコンを念頭に置いて書いているところと、スマホや他の機器に広げて書いているところと2パターンあったと思います。保護者の立場として考えると、スマートフォンというものが、どうしても生活と切り離せないものになっていますので、扱い方を強調してくれている教科書が良いと思いました。扱いは5社とも分量に違いはありましたが、いずれも発展ということで取り扱いがされていました。特徴的だったのは、光文書院が1ページを使って取り扱っていて、子どもたちに伝わりやすいと思いました。内容についても「スマートフォンなどの使い方と生活のリズム」という題名で使用についてのルールやスクリーンタイムなどについて書いていて、家庭とともに考える必要性も触れられていたので、その点についても魅力的だと思いました。
小川教育長	家庭とともに考えるという意見も出ましたので、保護者の立場で木岡選定委員、何か補足はありますか。
木岡選定委員	保護者の立場として、これから子どもたちが社会で羽ばたいていく中で、どうしてもスマホやタブレット、パソコンなどデジタル機器については必要不可欠なものになってくるとするのは、大人として十分認識しています。やはり子どもも私もそうですが、普段は眼鏡をかけなければならないという状況になっていて、健康面の影響はどうしても気になる部分と思っています。学校だけの活用にとどまらず、家でもスマホを持たせたりとか、色んな動画を見たりとか、色々メディアに目を触れる状況があるのですが、それを使用するルールは、保護者としてやっていけないといけないことだと認識しています。と言いながらも、授業の中ではタブレットを用いての勉強がどうしても不可欠になっています。今も家では宿題もそれを使っている状況もあって、今回は教科書の中でも色々QRコードを見ながら動画を見る状況になっていて、この後も触れていく場面は多々出てくるでしょうし、逆に触れてもらいたいという親の気持ちもあります。効果的に使ってもらいたい思いもあるのですが、どうしても健康面で与える影響も多々ありますので、この保健という授業を良い機会として取り扱ってもらいたいという思いはあります。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	私は性について着目してみたのですが、大日本図書1社だけ、キャラクターの吹き出しでLGBTという言葉を用いています。他社の教科書でも、性について述べられていますが、「性と自分らしさ」「さまざまな性」「その人らしさ」「みんなちがってみんないい」「性についての心の多様性」「性についての悩み」というようなコーナーでそれぞれ取り扱われています。大日本図書、大修館書店、光文書院、学研は、相談窓口を併せて掲載しています。社会的にも性につ

	いては、様々な捉え方、人それぞれあると思いますが、例えば、4年生についてその時点でその言葉を使うかどうかではなく、自分自身、他者と自分らしさを大切にできるように、この機会を使って子どもたちが学んでほしいと感じました。やはり大切なことで、困ったときや悩んだ時には相談できるところがあることも併せて伝えてほしいと思います。
小川教育長	他にございませんか。
小谷委員	私は感染症のところで、エイズというところに着目しました。感染症は様ざまありますが、やはり高学年になってきちんと理解してほしいと思ったところです。文教社で 56 ページに詳しく取り扱われています。他の教科書でも少し取り扱っていますが、現在、この分野についてどのように説明されているか教えていただければと思いました。
大槻選定委員長	HIV については、現在使用している保健の教科書でも、「感染症の予防」の単元で取り扱われています。教科書に記載されている内容「エイズとはどんな病気か」「どうやってうつるのか」「エイズの正しい理解をしましょう」「感染しないこと」について、学んでいます。今回の各社の教科書では、感染症の単元で、新型コロナウイルス感染症についても掲載されています。それぞれの感染症について対応が異なることも含め、子どもたちに正しい理解をするようにしなければならないと考えています。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	もう 1 点、食育について本市で非常に力を入れて取り組んでいると認識しています。小学校で何か育ったものを土から食育をする取組みもされていて、保健でもそれに関わる部分があると思いますが、各社の扱いの違いについて意見は交わされましたか。
大槻選定委員長	食育の取組みの充実について、特段の意見交換は行っておりませんが、大阪府の選定資料によると、食育に関する指導の内容を各社で比較すると、大日本図書と光文書院が、それぞれ 15 ページと 13 ページ、それ以外のところは 6～9 ページの表記となっています。
久米委員	分かりました。食育の扱いだけではありませんが、先ほど申し上げた相談窓口の掲載やデジタル機器への配慮など、私の印象としまして総合的に光文書院がその点の配慮が優れているのではないかと感じています。
小川教育長	他にご意見はございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、本市の子どもたちにとって、体育の時数の中の限られた時間の中で、知識の習得に終わらず生活と関連付けて考

えられるようシンプルな内容となっている点、保健の視点でも食育の取組みについてたくさん取り扱われている点、1人1台学習用端末やスマホなど電子機器を扱う上での注意が充実している点などから、光文書院が適切であるということになりますが、ご異議ございませんか。

【異議なし】

それでは、種目 保健は、光文書院の「小学 保健」を採択することに決定します。

外 国 語

次に、種目 外国語について審議をお願いします。外国語は「東京書籍」「開隆堂」「三省堂」「教育出版」「光村図書」「啓林館」の6社です。

東京書籍は、

- ・全ユニット見開き4パート構成で統一されていて、目標やゴール、おさえるべき表現が明示されている
- ・別冊について、「英語を使って会話を広げよう」「digital map」自分の伝えたいものの単語を記入する欄などがあり、充実している

開隆堂は、

- ・5年生では、Let's study English、6年生では Let's think and communication として、それぞれの学年で学ぶべき資質・能力が最初に明記されている
- ・見開きの左上から順に進めていくことで自然に単元の到達目標に向かっていけるように工夫されており、家庭で自主学習するときにも順に進めていけばよいのでわかりやすい工夫がされている

三省堂は、

- ・児童が自らのゴールを設定し、見通しをもって学習を進めることができるように、それぞれのUnitがHOP、STEP、JUMPで構成されている
- ・各学期の目標が明確に提示されており、各学年到達目標、学期到達目標、各単元の到達目標とゴールに向かう方向性がはっきりしており、骨組みがわかりやすい

教育出版は、

- ・基本的な構成が「①概要をとらえる、②慣れ親しむ、③聞く、④簡単なやり取り、⑤読み書き、⑥発表ややり取り」という流れになっており、5領域の言語活動が設定されている
- ・コミュニケーション活動の充実につながるように、発表活動にそのまま使えるワークシートが付属されている

光村図書は、

- ・各学年にcan-doリストが設けられているため、特に知識・技能において見通しをもちやすい

西家委員	・対話コミュニケーションを大切にしており、「いつもたいせつ」では「笑顔で」「目と目を合わせて」「はっきりとした声で」「相手の言葉に反応しながら」というようなコミュニケーションに大事な4つのポイントが示されている 啓林館は、 ・外国語で育成すべき資質・能力を、「コミュニケーションでたいせつなこと」という見出しで、発達段階に応じて、分かりやすく記載されている ・英語を楽しみながら、聞きたい・話したいというように意欲的に取り組めるようデジタルコンテンツが工夫され充実している などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。 外国語は、現在も全小学校で児童用デジタル教科書が使用できるようになっていますが、今回各社のデジタル教科書の内容や、QRコードが教科書にたくさん掲載されていますので、すべて活用するのは結構なボリュームになると思います。全体的に啓林館の教科書が使いやすいという印象を受けましたが、そのことについて、選定委員会で何か意見はありましたか。
大野選定委員	デジタル教科書については、子ども一人ひとりの端末で音声を流すことができるなど各社ともに便利なものになっています。ただ、書くときの紙媒体の必要性や子どもがデジタル教科書を現時点では常に使う状況ではないことから、1人1台学習用端末を使ったデジタル教科書の効果的な使い方については、今後授業の進め方も含めて研究が必要だという意見がありました。また、比較してみるとQRコードについては、啓林館が他社よりも内容が充実していました。デジタル教科書では、QRコードの内容部分にもリンクされているので、その点も含めて啓林館が充実しているという意見がありました。
小川教育長	他にございませんか。
小谷委員	たくさん教科書がある中でワークブックの役割についてお伺いしたいのですが、開隆堂はワークブックがついており、分かりやすく、それと連動する学習ということで学びやすいのではないかと感じました。別になっているところで身近に常に取り出してできると感じました。他に有無がありますのでその辺りはどうなっているのかなと感じました。ワークブックのあり方についてのみなさんからのご意見をいただければと思います。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	少し違う視点になるのですが、前回の採択は東京書籍で、別冊が付いていてマイピクチャーディクショナリーというものが、視覚的にイラストなどを使って日本語を介さないで意味を学べるので非常に優れているという評価でした。

	今回は他社の教科書でも、同じような視点で日本語を介さないで英語を直接感覚で学ぶというものが出されていましたので、私は、いずれも良質な内容ですし、この点では差が付かないのではないかと思います。
小川教育長	他の方で別冊について意見ございませんか。
西家委員	東京書籍と開隆堂、三省堂の３社で別冊があり、３社ともにデジタル版で使うこともできますようですが、東京書籍に少し特徴があります。表紙を開くと「英語を使って会話を広げよう」というページがあり、会話をするときの表現が紹介されていたり、digital map、自分の紹介したい単語を記入したりする欄があるのが割と特徴的だと思います。残る２社は、単語やフレーズの辞書になっていて、別冊が無い教育出版、光村図書、啓林館の３社においても、単語の辞書にあたる部分については、教科書の巻末にまとめて記載されていて、別冊と巻末への記載という違いかなと思いますが、ちょっと特徴的かと思いました。
小川教育長	他にございませんか。
中西委員	答申の中でも記載されているように、開隆堂は見開きの左上から順に進めていくことで自然に単元の到達目標に向かっていける点では、子どもたちだけではなく現場教員のみなさんにとって、使いやすいのではないかと感じました。経験の少ない先生方も含めて色々ご苦労が多いと思いますが、教員から見て、教えやすさの点では、いかがでしょうか。
大槻選定委員長	その点で言うと答申の通り開隆堂は、分かりやすいという意見がありました。啓林館も順番に進めていけばそのままできる仕組みになっているので比較的分かりやすい。東京書籍はシンプルで色々なゲームで引っ張っていく形で指導できるという意見も出ました。英語の指導は、高い専門性が求められる教科ですし、苦手意識を持つ教員もいます。実際には、専科指導教員が多いことや交換授業などにより、学年内で教科担任が指導することもあります。基本的には学級担任が指導しますので、使いやすい教科書は魅力の１つであるという意見も出ました。
中西委員	ありがとうございます。それに関連してもう１点お伺いしたいのですが、2020年に英語の教科の必修化が進められて、3、4年生から外国語活動に触れながら5、6年生で教科として学ぶという、小学校でも学びの仕組みが整ったわけで、僕は非常に大きな前進になったと思いますが、ただ、心配なのは、このことによって逆に英語嫌いが増えないか心配なのですが、この点について選定委員会では議論ありましたか。
阪下選定委員	英語嫌いを生まないことについては、例えば、5、6年で教科になってから

	難しくなったことや、聞き取りが苦手な子どもの課題があります。その点では、啓林館が楽しみながら、聞きたくなる教材をしっかりと取り入れているのではないかという意見が出ました。具体的には導入のイントロダクションのところで、他社では最初の部分を聞くだけで大体のことがわかる仕組みになっていますが、啓林館は最後までしっかり聞かないと何を指しているのか分からないようになっているため、最後まで学習の意識を保って考えながら聞くことが求められるような構成になっています。シンプルで分かりやすい内容ですが、しっかり聞かないと答えを出せない仕組みになっていて、英語嫌いを増やさないように工夫されているという意見が出ました。
中西委員	啓林館の優れている点はよく分かりましたが、気になるのは、最後まで学習意欲を持ち、考えながら聞くことが求められるということ。これは、逆に英語嫌いを生み出すリスクにもなりかねないという気がしますし、特にやっぱり教員のみなさんの教え方如何に関わってくる気がします。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	先ほどから英語嫌いを生まないという点について話し合われていますが、1つの壁として文法が上げられると思います。文法は小学生で避けられないものでして、中学校に上がってからいきなりはいどうぞ、と始まって困るわけでは、文法というと非常に難しい感じがしますが、例えば1つ、バナナというのでも、a bananaと単数形で学んでおくのか、単なるbananaと学ぶのか、こういう単純なところも1つの文法という認識になるのですが、私が見せていただいた中で、光村図書は語彙中心に焦点が充てられていて、文法指導はあまり焦点を当てられていない印象でした。英語はどうしても、「読む・書く・聞く・話す」をバランス良く技能を伸ばしていく点で、文法基礎力というのは避けて通れない。その文法の指導内容でバランスが良いという意味で見ましたが、東京書籍、開隆堂は基礎的なところで分かりやすいと思いました。啓林館は言語習得の基本のところを非常に大切にしている、最終的に中学校へ移行するところまで文法がきちんと編集されている印象がありました。別の視点で見ますと、小学校5年から6年というのは、元々キッズイングリッシュというところから中学英語への急転換期になり、非常に指導が難しい学年になっています。この急転換期に児童の発達段階に合わせた内容になっているかに注目しましたが、選定委員会で何か議論は交わされましたか。
阪下選定委員	急転換期というキーワードですが、まさに、3、4年生の外国語活動から5、6年生の教科、外国語に移行する部分で、教科書活用が開始されるなど、ギャップが生じる懸念があります。また5年生から6年生へ教科としての難易度自体が上がるところが、子どもたちにとっては壁になっているところもあるので

久米委員	はという意見がありました。その中で、啓林館ではチャンツのところで「リズムに合わせて言いましょ」の箇所には赤丸がついてあり、リズムが大切な英語学習で音が高くなる箇所にマークがきちんと付いているということは、リズムという習得基礎を工夫しているという意見がありました。 よく分かりました。先ほどの英語嫌いを生まないという意見とも重なるということで、やはり音も大切にしなければいけない。 そういう意味では、子どもたちがすごく聞きやすくなるとか、聞きたくなる、分かりたくなる工夫がされていて、言語習得に繋げやすいという点で啓林館に魅力を感じます。 ALT が各学校に行かれていますと思いますが、その点で ALT が使いやすい教科書はありますか。
大野選定委員	調査研究委員に確認しましたが、その点においては、いずれの教科書でも差異はないとの意見でした。
小川教育長	他にございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、本市の子どもたちが発達段階に合わせて楽しみながら英語を聞きたくなるという点、デジタルコンテンツが充実しているという点などから、啓林館を推す意見が多かったと思いますが、よろしいでしょうか。 【異議なし】 それでは、種目 外国語は、啓林館の「Blue Sky elementary」を採択することに決定します。 特別の教科 道徳 次に、種目 特別の教科「道徳」について審議をお願いします。道徳は「東京書籍」「教育出版」「光村図書」「日本文教出版」「光文書院」「学研」の 6 社です。 東京書籍は、 ・教材末の「考えよう」では、道徳的価値について迫ることができる発問に◎、自己をみつめる発問に○をつけて、掲載されている ・巻末に心に残った教材とその理由を記入するページがある 教育出版は、 ・低学年でキャリア教育、中学年で防災教育、高学年で福祉教育等、現代的な課題を多種多様な教材で扱い、多面的・多角的に考えられるようにしている ・本教材 30 本ですべての内容項目がおさえられており、残りの補充教材に代

	えて学校や学級の実態に応じた教材を選択できるように構成されている 光村図書は、 ・「話し合いのこつ」や「考える準備体操」、「道徳で使う言葉」を具体的に示し、他者との対話を通して考えを深められるように工夫されている ・役割演技の際の、演じる側と見ている側の両方の手順を示すことで、体験的な学習を通した指導ができるよう工夫されている 日本文教出版は、 ・各学年とも「本冊」と「道徳ノート」の2冊で構成され、本冊では教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている ・「いじめ防止」が最も重要なテーマとして位置付けられ、いじめを「しない、させない、見過ごさない」心が育まれるよう配慮されている 光文書院は、 ・全学年に、コラム「みんなでやってみよう」を設けることで、よりよい人間関係になるためのコミュニケーションスキルを高めるための体験的な活動の工夫がされている ・教材末の「まとめよう」では、学んだ道徳的価値を自分とのかかわりの中であらえ、発展させることができるよう配慮されている 学研は、 ・教材の後の「深めよう」や「心のパスポート」のページを活用することで、問題解決的な学習や道徳的行動に関する体験的な学習を行うことができるように工夫がされている ・全学年、教科書の巻末に「つなげよう 広げよう」のページが設けられており、自己の成長を振り返るための工夫がされている などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。
深堀職務代理者	各教科書の教材に挿絵等のイラストが使われています。このイラストは子どもたちの理解を手助けするものになると思いますが、同じ教材であっても教科書会社についてイラストの違う部分がありました。どういうイラストが適しているとか選定委員会の中で意見が交わされたのであれば、教えていただきたいと思います。あともう1点ですが、文章の長さが気になりまして、長い文章を読むとなると、子どもたちが道徳的な思考に入る前に読解するところでつまづいてしまわないのかが気になりました。光文書院の教材で漫画が使われていましたが、そういう形式は分かりやすく面白いアプローチと思いましたが、それについても選定委員会のご意見があれば教えていただきたいと思います。
大槻選定委員長	挿絵は、子どもたちが話の内容を理解する手助けになるものです。ただ、その挿絵に引っ張られて、子どもたちの考えを狭くするものであってはならないとも考えています。そのため、適度なバランスが必要だと意見を交わしました。その点においては、調査研究報告において、いずれの教科書も挿絵そのものは子どもたちの理解の手助けとなるという見解でした。ただ、もう1つの質問と

	関係するのですが、光文書院の教材の漫画様式についても意見が交わされました。4年生の108ページに「雨のバス停留所で」という教材が漫画様式で掲載されています。他の教科書会社でも取り扱われていて、東京書籍は140ページ、教育出版40ページ、光村図書112ページ、日本文教出版48ページ、学研40ページに掲載されています。これを見比べると分かりやすいのですが、他の5社は挿絵が3つから4つ。それに対して、光文書院は、漫画様式のため大小合わせて、16枚のイラストとなっています。その分、その場面の様子がよく分かると思います。登場人物の表情もイラストによって描かれているので、それが基本的な授業の進め方の中で生かしていけるかどうかという話もありました。ただ、一般的には教材を読んで、大まかな筋を掴んでいて、内容を捉えて、お話を展開、整理していきながら主要な部分を考えていくという形になっていきます。この漫画様式などで先生のアイデアによっては、これを面白く使うという意見もあるかもしれませんが、ただ、子どもによっては、表情に引っ張られてしまって考えが狭くなってしまう、そういう危険性は否めないという意見でした。
深堀職務代理者	今のご意見で、イラストで子どもたちを誘導してしまうことはよくないということをお教えいただきましたので、そこは大事にしていかなければならないなと思いました。
小川教育長	他にございませんか。
久米委員	小学校1年生の教科書に着目しましたが、1年生というのは、まだひらがなで学習していく段階で、教科書会社によっては長い文章が出てくるとか、文字の大きさがそれぞれ違う。東京書籍では8つめぐらい、教育出版が4つめ、光村図書が6つめ、日本文教出版が8つめぐらいで、光文書院は漫画様式やイラストに文章が入ってくるという形、学研は始めの方から教材に文字がたくさん出てくる点が非常に気になりました。そういう場面で、先生方が小学校1年生の担任になられて、この教材では読み聞かせだけでは非常に難しいと感じていまして、各教室の大型モニターにイラストを映したり、黒板にイラストばかり掲示したり、先生が色々工夫してくださっていると思いますが、あまり早い段階から長い文章が出てくるのは、やはり先生にとっても難しいですし、子どもたちもまだ文字が読める子、読めない子のそれぞれ差があると思います。そういう点で考えますと、私は東京書籍、日本文教出版が望ましい印象を持ちました。
小川教育長	それでは、小谷委員お願いします。
小谷委員	私は女性活躍の点で見ってみました。学研が5年生の教科書で、女性医師について書かれていて、逆に他の教科書は女性活躍についてはあまり書かれていな

	いと思いました。この男女共同参画については、まだまだ日本社会は、世界でもジェンダーギャップ指数が、先進国でも 125 位で、まだまだ平等になっているという状況ではない中で、他の教科書に載っていないのは残念に思いました。ですので、学研が 1 つ取り上げていて良いと思いました。もう 1 つは、いじめということで重要なテーマだと思います。これは、複数本書かれていたと思いますが、私が印象に残ったのは、教育出版で、同じ教科書で全員生徒が自分に向き合っていくことが重要だと思いました。これら両方ともがあればいいと思ったのですが、両立しているものはありませんでしたので、まずは、学研が良かったと思います。
小川教育長	他にございませんか。
深堀職務代理者	前回の採択時にも議論があった点なのですが、道徳ノートについて、前回はノートが使える方が助かるという先生と、もっと自由度を高くして指導したいという先生がいたと説明があったと思います。そのあたりについて、今回は別冊の道徳ノートがついているのは 1 社のみのようですが、選定委員会で議論が交わされていれば教えていただきたいと思います。
上田選定委員	今回、別冊として道徳ノートがついているのは日本文教出版のみです。調査研究委員からは、今回の道徳ノートは前回と比べて自由度が高いことと、教員によって思考ツールを使って書かせる工夫ができているとの報告がありました。この道徳ノートの存在は大きくて、本市の多くの学校で行われているローテーション道徳という取組みをしています。それは、さまざまな教員が授業を行う際に、通常指導している子どもたち以外の情報を得やすく、子どもの理解を深めやすいという意見がありました。また、家庭でも 6 年間の道徳の学びの記録を保管できるとともに、学期に 1 回程度家庭に持ち帰り、保護者と共有することができるのが有効であるという意見もありました。
小川教育長	これもまた保護者の話が出ましたので、木岡選定委員から何か補足がありましたらお願いします。
木岡選定委員	子どもたちは学期末に道徳ノートを持って帰ってきます。息子が、そこに短い文章を書いたり、長い文章を書いたりしているのですが、何を書いているのだろうと、道徳の教科書を見せてもらって、彼はこんなことを考えていたのかとか、まだこれぐらいしか考えられていないなとか、色々な成長の気づきがそのノートのおかげで見られます。僕自身が感じられていないことも、息子は感じられている。ノートのおかげでまた家族間で会話ができ、こういうふうを考えよう、こういうふうにおもう、とか色々な会話に繋がっています。ノートの最後のところに保護者からという欄があり、僕自身が自由に書ける部分なので、少し照れくさいことも書きます。そのようなこともあえて先生や子どもに

	も見ていただきたいと思いますし、恥ずかしいことも含めて普段言葉にできないことを伝えられることは有難いツールだと思っています。
小川教育長	ノートについて深堀職務代理者いかがでしょうか。
深堀職務代理者	今、木岡選定委員のお話をお聞きしまして、保護者のみなさんがすごく活用しているということで、有効性があることと、先生方からも自由度が上がっていて使いやすいということなので、道徳ノートは非常に良いものだと思います。
小川教育長	他にいかがでしょうか。
中西委員	今回の採択にあたって一番大きなポイントはこの道徳ノートの評価ではないかと思っていました。前回の採択時は、消極論と積極論、両論あったと聞いていますし、特に経験のある教員からは消極な意見が多かったそうですが、前回より自由度が高くなり調査報告の中でも、経験の有無に関わらず道徳ノートの評価する声が多かったと。それと、やはり非常に大きいところは木岡選定委員のただ今のお話で、道徳ノートを通じてお子さんの成長に気付き、家族間の会話に繋がる有難いツールだ。このお話は、非常に説得力があったと思います。この道徳教育の取組みを通じて、道徳ノートが和泉の教育の中にしっかりと定着してきたということが言えるのではないかと思いますので、これを継続し、発展をさせる方向がいいのではないかと感じました。
小川教育長	道徳ノートについては、私からも補足したいと思います。本市では、豊かな心を育む授業公開ということで、全学校、全学年、全クラスで、保護者だけでなく地域の方にも全部公開する中で、道徳というものは単に学校だけで考えるのではなく、お家の方と一緒に考えてほしい、また、話し合ってほしい、地域の方にも道徳の教科書を知っていただきたいということで、全校で実施しています。先程の木岡選定委員のご意見で、子どもたちと保護者が話をするきっかけとしても道徳ノートが活用されているということで、教科書に書き込む形式はどの会社もあるのですが、自由に書く形のノートということが非常に共有しやすく、大変有用なものに定着していると思います。 他にございませんか。
西家委員	いじめについての取扱いで、日本文教出版が、6年生の148ページにおいて、他社よりも踏み込んで「いじめと法律」というところで取り扱っていて、侮辱罪・暴行罪・強要罪など、いじめ防止対策推進法に触れて記載されています。道徳なのでここまで触れる必要があるのかと思うところも感じたりするのですが、この点で選定委員会の中で意見は交わされましたか。

上田選定委員	選定委員会での意見としましては、日本文教出版はいじめの防止に関して全学年で重要項目として取り扱っており、直接的にいじめを扱った教材と間接的にいじめを扱った教材を組み合わせ、毎学期関連しているものが配置されています。いじめについては、どの学年においても考える機会をもっており、道徳の時間をつかって、考えを深めることは大切であるという意見がありました。また、調査研究委員からは、現在使用している教科書においても、直接的にいじめを扱った教材が掲載されており、この内容について授業の最後にふれたときには、やはり教室の子どもたちの雰囲気がぐっと変わる。子どもたちが自分事として考えることに繋がっているようだとの報告がありました。																											
小川教育長	他にございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、本市の子どもたちが、自分の考えたこと、感じたことをしっかり書き溜め、家庭とともに道徳心を育むことができる点、ローテーション道徳などの取組みについて共通の子ども理解の手立てとなる道徳ノートを活用できる点、いじめについて教材とコラムを活用して自分事で考えられるという点などから、日本文教出版が適切であるということになります、よろしいでしょうか。 【異議なし】 それでは、種目 特別の教科「道徳」は、日本文教出版の「小学 道徳 生きる力」を採択することに決定します。 以上で、令和6年度使用小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書についての審議及び採択がすべて終了しました。委員の皆様、慎重なご審議お疲れさまでした。最後に、本日の採択結果を確認したいと思います。事務局から報告をお願いします。																											
上田教育指導監	教育指導監の上田です。本日、議決をいただいた採択教科書の報告をします。種目、発行者、教科書名の順に申し上げます。 <table><tr><td>種目</td><td>発行者名</td><td>教科書名</td></tr><tr><td>国語</td><td>光村図書</td><td>国語</td></tr><tr><td>書写</td><td>教育出版</td><td>小学 書写</td></tr><tr><td>社会</td><td>日本文教出版</td><td>小学社会</td></tr><tr><td>地図</td><td>帝国書院</td><td>楽しく学ぶ 小学生の地図帳</td></tr><tr><td>算数</td><td>日本文教出版</td><td>小学算数</td></tr><tr><td>理科</td><td>啓林館</td><td>わくわく理科</td></tr><tr><td>生活</td><td>啓林館</td><td>わくわく（いきいき）せいかつ</td></tr><tr><td>音楽</td><td>教育芸術社</td><td>小学生の音楽</td></tr></table>	種目	発行者名	教科書名	国語	光村図書	国語	書写	教育出版	小学 書写	社会	日本文教出版	小学社会	地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	算数	日本文教出版	小学算数	理科	啓林館	わくわく理科	生活	啓林館	わくわく（いきいき）せいかつ	音楽	教育芸術社	小学生の音楽
種目	発行者名	教科書名																										
国語	光村図書	国語																										
書写	教育出版	小学 書写																										
社会	日本文教出版	小学社会																										
地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳																										
算数	日本文教出版	小学算数																										
理科	啓林館	わくわく理科																										
生活	啓林館	わくわく（いきいき）せいかつ																										
音楽	教育芸術社	小学生の音楽																										

	図画工作	開隆堂	図画工作
	家庭	開隆堂	わたしたちの家庭科
	保健	光文書院	小学保健
	外国語	啓林館	Blue Sky elementary
	特別の教科 道徳	日本文教出版	小学道徳 生きる力/道徳ノート
小川教育長	以上です。		
各教育委員	委員の皆様、今の報告内容に間違いございませんか。		
小川教育長	間違いありません。		
	それでは、これをもちまして、議案第 28 号「令和 6 年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の採択について」の審議を終了します。選定委員のみなさま、調査員会のみなさま、本日までの長期にわたる公正で綿密な調査・研究お疲れさまでした。この場をお借りして、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。 以上をもちまして、本日の臨時会は終了します。		

令和 5 年和泉市教育委員会第 2 回臨時会の様子



傍聴は当日受付しています。皆様の傍聴をお待ちしております。

傍聴方法：当日受付

開会時刻 15 分前から先着順で入室可能ですが、その時点で定員を超える場合は抽選とします。（定員数は会場により異なります。）

ただし、人事に関することなど非公開となる案件は傍聴できません。